

【終生書生氣質】 2021. 12. 7

我が人生を支える恩師・恩人の金言・諫言

前市議会議員 佐藤 壽三郎

- 小学校 1 年時のある授業中に、先生は越壽三郎翁の少年時代の奉公先の逸話を語られた後、「人から信用されることは、最も大切なことなんだよ。信用を得ることは、信用してくださる人を、決して裏切らないことなんです。」と優しく諭された。
小学生時の担任 越 いな先生
- 「大きくなったら政治家になって、人のために尽くす人におなり」祖母きく
- 男なら 決めたこと（信念）を 曲げたらいかんぞ！
男なら 途中で投げ出すな（投げだすんなら、最初からやるな！）
男は 潔さが大切だ。これは男の値打ちだ！
男はな！ 重箱の隅を突つつく様な者になってはいかんぞ！
小学高学年時の担任 山縣龍観先生
- 父が急死してしまったその日・・・
「父ちゃんが死んだからって悲観するな。大きくなったら東京に出て、書生をしながら学問を積なさい。」 母 本明
- 父親が亡くなって、ある時にある大人から見くびった言葉を浴びせられて、不覚にも涙を流して帰宅した私に、「壽三郎！今日のことがよっぽど悔しかったら、大きくなったら屹度偉い人（人に優しく出来る人）になるんだよ」と、母は何遍も何遍も私の頭を撫でて諭してくれた。 母 本明
- 「父親が居ない分不憫なお前だが、人生を人より廻り道することは避けられないんだぞ。廻り道（夜学に学ぶこと）を厭うな。廻り道をしてしても決して望みを諦めるんじゃないぞ！」 中学生時の担任 山崎 厚先生
- 「父親が亡くなった分苦勞するけど。自分に負けるな！」 今井金物店 主人
- 「切れ者と言われる者に決してなるな、マサカリと言われるような男になれ！」
高校生時・化学 玉井 勇先生
- 「その道で本物と言われる人になるにはな、一つのことをコツコツと 50 年やり続けることだ！」
語彙を高める為に、毎日寝る前に「国語辞典」を 10 頁読むこと。
高校生時・現代国語 新井 斌先生
- 「男子の心意気は、鶏口となるも牛後となる莫れだ！ 忘れるな！」
高校時の生徒会顧問 田中 寛先生
- 「行く行くは法律家になって、更に政治家となり、世の中のために尽くすとい

う、大志を抱いている君だ、つまらぬことで躓くな。自分を大切に青春時代を
過ごせ」
高校生時の担任 宮下 平先生

○「大学を出るってことはな、『人様に1円でも高く使ってもらう』ってことな
んだぞ。俺が一生食べていける商いの道を仕込んでやるから、東京になんぞ
行くな！」
(株)丸山酒店社長 丸山 光忠翁

○ 親父は晩年、実の子である俺より壽三郎君を、やきもちやくほどまつべた。
壽三郎君は父を早く亡くされ、昼間は親父の下で働きながら西高の夜学に通
って卒業すると「法律を学ぶ」と上京した。十年後に須坂に帰ってきたが、
親父は壽三郎君を、少年時代より生涯に亘り異常なほどまつべた。親父と壽
三郎君の間には『まつべる・まつばる』信頼関係があったんだと思うな。

泉小路活性化の会副会長・(株)丸山酒店二代目社長 丸山 眞氏

○「兄ちゃんはなあ、東京から須坂に帰って来てしまったんだぞ。最早野心を
抱いちゃいけない。未練たらしく野心にしがみ付けば、人生を台無しにして
しまう。俺と碁を打って野心を捨てる！ さあ今日も俺と碁を打て！」

壽泉院住職 重倉三義和尚

○ 君の議員になる志しの実現に力を貸そう。一緒に望みを叶えよう！

寿会佐藤後援会会長 竹村 徹志氏

〃 副会長 近藤 幸助氏

○ 政治家の名前なんぞは死んで五年もすれば、人からすっかり忘れられてし
まうもんだよ。大切なのは議員でいる時に、如何に住民のために、郷里のた
めに尽した政治家でいたかなんだね。 元県議会議長 田中英一郎先生

○ 佐藤さんが議長として、確かな法知識に基づいた発言や采配を奮われること
を快しとしない議員たちが、足をすくおうと何か画策しているようだが、十
分に自重されて、須坂市民のため須坂のために頑張ってください。

元県議会議長 中島輝夫先生

○「将来何になりたい？ なに代議士！ それなら先ず憲法を修めることだ！
憲法を理解していない者が政治家になると、泣くのは国民だからな！」

弁護士 平井良雄先生

○ 法律を学ぶ上で大切なのは、ある制度を覚えようとするときに、「〇〇とは」
と定義を覚えるだけで満足してはいけない。例えばビール瓶のラベルを見て、
〇〇ビールだと認識して満足するのではなく、ラベルの裏側に何か書かれて
いるかなど、瓶の裏側を確かめる好奇心が、法律を学ぶ上では必要なんだね。

何のための制度なのか、その歴史的背景や経緯を立体的と言うか相対的に
学びとることが必要なんだね。とかく学習を進めるときに陥る「〇〇とはを覚

えて満足する」学び方は要注意だね。 弁護士 田宮 甫先生

- 「終生書生気質」を読んでいるよ。市議会議員として活躍していること
大変嬉しく思うね。頑張れ！ 弁護士 湯本 清先生

- プロとアマの違いは、隅を決められるかどうかだ。この違いが一番分かるのが左官屋と法律家だ。素人が垂直の壁にベトを塗っても剥がれ落ちてしまう。プロの左官屋が塗るとベトは剥がれ落ちない。何故か？プロの職人は鍔（こて）で隅を決めれるからなんだな。

法律相談を受けた時に、素人は有効か無効かを判断する知識がないから、玉虫色の回答しかできない。プロの法律家は、法律相談の内容が有効か無効かをはっきりと言える。何故か？プロの法律家は隅を決めれるからなんだな。有効か無効の見分けをする法知識があるからだな。プロの法律家を目指す以上、この要点を極める受験勉強をすることが大切なんだな。

弁護士 大塚先生

- 月報議員活動報告を欠かさず読んでいます。培った法知識を生かして市民のために頑張ってください。 弁護士 松本昭幸先生

- 市議会議員として初志を果たしてください。 弁護士 齋喜 要先生

- 司法試験に及第しないと、何故か人生が萎んでしまうものですが、奮起されて市議会議員になり、培った法知識を駆使されていることを嬉しく思います。市民のためにも頑張ってください。 弁護士 濱崎正己先生

- 「佐藤君、法律家を目指す以上、学内の前期・後期試験のための試験勉強で時間を費やす必要はない。国家試験のための計画に沿った学習を進めている以上、学内試験は六法を持ち込めば解ける位の学力と法的思考力がなければ、法律家にはなれないぞ。」。 弁護士 笠井盛男先生

- 送達された訴状の相手方には十数人の弁護士の名が連なっていたので、「先生一人で大丈夫ですか」とお訊ねしたら、先生は平然と「どおってことない。相手方の代理人の数など関係ない。確かな法知識と法的思考があるか否かだ！」と言われました。 弁護士 笠井盛男先生

- 米寿を迎えられた恩師曰く「学びを忘れたとき、人は本当の意味で老い始めると言われている。」（だから励め！）と。 弁護士 笠井盛男先生